

な報

なごみ

10

特集 和水町行政懇談会

- ◆まちの話題
- ◆農業委員会の役割と使命
- ◆医療
- ◆福祉
- ◆お知らせ



～住民主体のまちづくりを目指して～

町の財政状況や行政施策等を、町民の皆様にご理解いただき、行政運営について広く意見を求めるために、和水町行政懇談会が開催されました。

懇談会は、町長から施政方針が述べられ、次いで各種団体等の代表者からのご意見やご提案などに対して回答するかたちで進められました。そして、最後に会場においていただいた町民の皆様にご意見やご提案を求め意見交換が行われました。

懇談会での説明内容やご意見ご提案と町行政の対応等の主な内容についてお知らせします。

町長施政方針の説明

町政運営にあたっては「対話によるまちづくり」「町民との協働」を基本方針として進めてまいります。本日の町政懇談会は、私の考えを皆様にお知らせするとともに、皆様方のご意見やご提案をお受けして、出来る限り町政に反映できるように努めてまいりたいと思っております。

さて、今年3月に合併して思っていますことは、合併は「すべてがバラ色ばかりではない」ということを実感しております。特に、財政的な余裕がないのが現実です。

財政状況について

和水町の最大の収入源であります地方交付税の交付額は、平成12年度は38億6千万円でしたが、平成18年度の交付見込み額は約26億円です。その減少額は12億6千万円で、この6年間で実に約33%も削減されたこととなります。

その他、今年3月末現在の財産のうち、基金と呼ばれる貯金は約29億円です。一方、負債、つまり借金は、約90億円ですが、その額のほとんどは地方交付税として措置されるものです。

（地方交付税措置の割合：過疎債70%・災害復旧債95%・義務教育債70%など）

今後は、この負債を少なくしていかなければなりません。そのためには、効率的・効果的な財政運営により歳出を抑えることを考えなければなりません。

今年度の一般会計総予算は、約53億9千万円です。一番大きな収入源は、先ほど申し上げた地方交付税で26億円。歳入の約半分を占めています。

次に、町民の皆さんから頂く税金が8億2千万円、国・県の支出金が5億5千万円、その他の収入が14億円。歳入の総額53億9千万円となります。

その他の収入のうち、3億2千万円が繰入金（貯金からの引き出し分）で、5億8千万円が町債（借金）ですから、町の事業を実施するのに約9億円が不足しているということになります。

本年度の部門別の事業について

福祉に関する施策について

少子化対策として、旧菊水町で行っていた3人以上の子どもを持つ世帯に対する小学校卒業までの医療費助成などに加えて、旧三加和町で行っていた第3子からの出生手当ての支給を行うこととしております。

高齢者対策については、本年4月から、保健師、社会福祉士及び主任介護支援専門員を配置した、地域包括支援センターを少子化対策として、旧菊水町で行っていた3人以上の子どもを持つ世帯に対する小学校卒業までの医療費助成などの医療費助成などに加えて、旧三加和町で行っていた第3子からの出生手当ての支給を行うこととしております。

事業について

健康福祉課内に設置し、介護予防体力アップ教室や運動機能向上教室などを開催し介護予防事業等に努めているところです。また、医療を受けやすくする為に独居や高齢世帯に対する通院外出支援サ

三加和地区においては、合併処理浄化槽の設置補助を引き続き実施して、今年度110基の設置を目指します。また、菊水地区では公共下水道と浄化槽設置事業を特別会計で実施しています。公共下水道は60ha約1600人に対して今年度中に供用することができるよう

環境・衛生に関する施策について

1ピスの実施や町立病院のケアバス運行を始めました。



産業の振興に関する施策について

農業は、生産性の高い経営への転換を図るために、認定農業者等への農地を集積や営農組合の設立を推進していきたいと考えています。

平成19年度から始まる品目横断的経営安定対策などの推進は、和水町農業振興促進協議会を、推進本部とし事業の推進を図っていききたいと考えています。

圃場整備事業について

も、今後の農業経営安定のため、更なる推進を図ってまいります。

商工観光関係では、商工会の合併をなるべく早い段階にできるよう町としても協力してまいります。

祭やイベントにつきましては今後も継続していきたいと考えております。

道路等の整備状況について

県道、玉名立花線の中十町地区の拡幅工事は継続して実施されます。また、和仁菊水線の西吉地地区の改良についても前向きに検討いただいております。

菊水地区では、県道竜門・菰田・山鹿線の改良が継続事業として行われ、新たに、玉名山鹿線の松下電器入り口の交差点改良が行われる予定です。

7月の大雨による道路や農地の被害は約2億5千万円にのびりました。被害箇所については、早期に復旧できるように努力します。

教育に関する施策について

最近では、子どもを狙った犯罪が多発しており、登下校時の子どもたちの安全対策が非常に重要になってまいりました。「青色パトロール」による巡回や地域ぐるみで子どもを守り育てる環境づくりに力を入れていきたいと考えています。

学校の給食は、地元の米を食べてもらうための米飯給食補助を行い、和水町のすべての児童・生徒が地元のおいしい米を食べることができるようになりました。

学校統合と学校建設については、子どもたちの教育に関わる重要な問題ですので、地域住民の皆様と一緒に、慎重に検討していかなければならないと考えております。

これまで申し上げてきました各種の施策や事業は、行政を預かる私ども

最後に、和水町を「希望あふれ、人と地域が輝くまち」にしていきたいための総合計画の策定に着手します。この総合計画は今後10年間の行政の指針となるものですので、町民の皆様方のご意見や考えを反映するために、町民アンケート調査を9月に実施します。調査協力をお願いしましたら、ご協力をお願い致します。また、本日の懇談会での意見交換もそのひとつでありますので、どうぞ宜しくお願い致します。

以上、合併後、初めての予算編成に当たっての考え方と、主な事業施策についてお話をさせていただきました。

まちづくりについて

■菊水会場
日時 平成18年8月18日(金) 午後7時30分～9時30まで
場所 和水平町ふれあい会館

各種団体からの質問等

Q 介護保険料の算出方法はどのようになっているのか？

では、全額65歳以上の1号被保険者の保険料に計算されます。

Q 和水平町老人クラブ連合会
介護保険料は、3年間を1期として見直しが行われます。1期3年分の介護サービス費用額等を見込み、50%を国・

※現在の和水平町介護保険料は、1号被保険者で4,500円です。玉名管内で2番目に低い状況です。

Q 保険料を下げる対策は行っているのか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 介護サービスを受ける

出来るような体づくりを推進していくために、町では、健康福祉課内に保健師や社会福祉士を配置した地域包括支援センターを設置し、介護予防のための体力アップ体操などの事業や各種相談事業等を進めています。

Q 高齢の方につきましては、これらの事業に参加

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 介護サービスを受ける

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 文化ホールの建設と図書館建設の計画はあるのか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 文化ホールの建設と図書館建設の計画はあるのか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 文化ホールの建設と図書館建設の計画はあるのか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 文化ホールの建設と図書館建設の計画はあるのか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 文化ホールの建設と図書館建設の計画はあるのか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 文化ホールの建設と図書館建設の計画はあるのか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 文化ホールの建設と図書館建設の計画はあるのか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

いただくと共に、仕事や趣味活動など生きがいを持つて生活をしていただくことが、保険料の上昇に歯止めをかけるものと考えています。

Q 婦人会活動に対しもう少し行政のバックアップをお願いしたい。

「和水平町地域婦人会」
行政の支援内容として次のようなことを考えています。

Q 行政の支援内容として次のようなことを考えています。

「和水平町地域婦人会」
行政の支援内容として次のようなことを考えています。

Q 行政の支援内容として次のようなことを考えています。

「和水平町地域婦人会」
行政の支援内容として次のようなことを考えています。

Q 行政の支援内容として次のようなことを考えています。

「和水平町地域婦人会」
行政の支援内容として次のようなことを考えています。

Q 行政の支援内容として次のようなことを考えています。

「和水平町地域婦人会」
行政の支援内容として次のようなことを考えています。

Q 行政の支援内容として次のようなことを考えています。

「和水平町地域婦人会」
行政の支援内容として次のようなことを考えています。

Q 行政の支援内容として次のようなことを考えています。

「和水平町地域婦人会」
行政の支援内容として次のようなことを考えています。

Q 行政の支援内容として次のようなことを考えています。

「和水平町地域婦人会」
行政の支援内容として次のようなことを考えています。

Q 行政の支援内容として次のようなことを考えています。

「和水平町地域婦人会」
行政の支援内容として次のようなことを考えています。

Q 行政の支援内容として次のようなことを考えています。

「和水平町地域婦人会」
行政の支援内容として次のようなことを考えています。

Q 行政の支援内容として次のようなことを考えています。

「和水平町地域婦人会」
行政の支援内容として次のようなことを考えています。

Q 行政の支援内容として次のようなことを考えています。

「和水平町地域婦人会」
行政の支援内容として次のようなことを考えています。



Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける

Q 白石堰一帯の整備計画が進められていると聞くが、民家村・古代の森一帯も同時に管理できる体制はつくれないか？

「和水平町老人クラブ連合会」
介護サービスを受ける



て町農業を担っていくと認められる新規就農者には、就農資金の助成を、1回を限度として20万円交付することとしています。平成18年度の新規就農者は7名です。菊水地区が2名、三加和地区が5名の新規就農があつており、本助成制度に申請が行われています。

Q 技術向上等を目的とした視察研修等への支援をお願いしたい。
〔農業後継者クラブ（みかわAG会）〕

A 国・県等が把握している優良事例等を確認し、農家の課題・問題等にそつた視察地の選定を行い、紹介していきたいと思っています。

Q 和水町でも農業振興促進協議会が発足したと聞くが、この協議会の活動や方向性が見えてこない。また、今後の様々

A 交流センター、緑彩館及びあばかんハウスの3つの施設を合わせた肥後元氣村の累積赤字が約1億円弱あります。このことを踏まえ、新たな取締役でスタートしたところ。そして現在、9月からの指定管理者制度の導入にあたり、経営のコンサルティングを受け、経営分析を行いながら再建に向けての計画を策定中です。指定管理者については議会の承認が必要です。再建に向けて一生懸命がんばっていききたいと思っています。

A 指定管理者制度を導入入します。制度導入にあたっては公募ではなく、現在の管理体制での実施を考えています。期

Q 本町の公の施設（菊水口マン館・三加和温泉ふるさと交流センター他）に、指定管理者制度を活用するのか？それとも今までどおりの管理なのか？

A 現在、公的な整備事業である品目横断的経営対策事業、畑地化総合整備事業、新山村振興等農林漁村特別対策事業などについては、市町村に対する説明会が開催されている状況です。和水町の農業振興協議会では、これらの事業を今後どのように導入していくのかを協議していきます。集落説明会が必要であれば実施していきたいと考えています。

今回の行政懇談会では、各種団体や町民の皆様のご意見やご提案等をいただきました。これらを真摯に受け止めて、今後の行政運営の参考にさせていただきたいと思っています。ありがとうございます。

Q 第3セクター（株）肥後元氣村の赤字は膨大なものとなつている。このことについて、町長の今後の考え方についてお尋ねしたい。

A 現在、公的な整備事業である品目横断的経営対策事業、畑地化総合整備事業、新山村振興等農林漁村特別対策事業などについては、市町村に対する説明会が開催されている状況です。和水町の農業振興協議会では、これらの事業を今後どのように導入していくのかを協議していきます。集落説明会が必要であれば実施していきたいと考えています。

Q 職員の不祥事に関し、当然町長が管理監督責任者として処分を受けるべきではないか？

A 今回の職員の不祥事に関して、改めてお詫び申し上げます。ご指摘の件ですが、もちろんそのように認識しています。今後、議会等の意見を聞きながら判断していきたいと考えています。

■三加和会場
日時 平成18年8月22日（火） 午後7時30分～9時30分まで
場所 和水町三加和公民館

各種団体からの質問等

Q これからのまちづくりについて、旧2町の違いをどうまとめ、展開していくのかビジョンを示してほしい。
〔和水町老人クラブ連合会〕

Q 今回のように旧町単位の大きな座談会ではなく、三加和地区ならば、例えば8つの里の範囲で懇談会を開いていただきたい。

A 旧2町のまちづくりの様々な違いについては、合併協議会で議論し、町の将来像（希望あふれ人と地域が輝くまち）や基本的な施策の方針が定められ「新町建設計画」が策定されました。今後は、今回の懇談会や町民アンケート調査をととして町民の皆様のご意見等を参考にしながら総合計画の策定を進めてまいります。それぞれに育まれた文化

Q スポーツ以外の文化面でも、県大会、九州大会、全国大会に出場される場合、垂れ幕等を掲げていただけないか？
〔三加和地区PTA〕

Q 新幹線開通に向けてどのようなまちづくりをしていくのか？
〔三加和町商工会〕

A 回答については、5ページの菊水町商工会からの質問に対する回答の内容と同じです。

Q 農業後継者育成のための町単独補助制度をつくれませんか？
〔農業後継者クラブ（みかわAG会）〕

まちの話題

①笑顔いっぱい交流会 三施設交流会



▲菊水ひまわり園の園児たちのかわいいダンス



▲きくすい荘の方たちのハンドベルの演奏



▲精粹園のみなさんによる楽しい演奏

8月29日（火）、特別養護老人ホームきくすい荘ダイホールで、きくすい荘と精粹園、菊水ひまわり園の三施設交流会が行われました。

まず、各施設から出し物が発表されました。精粹園からはみんなでの息の合った元気いっぱいの演奏を披露。菊水ひまわり園の子どもたちは、かわいいダンスやミニ運動会を披露し、会場を沸かせました。きくすい荘の方たちはハンドベルを見事に演奏され、満足そうな笑顔を浮かべていました。その後、みんなでゲームをして交流を楽しみました。

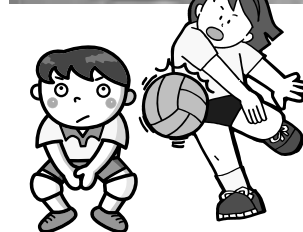
②「花族ニヨッキーズ」が優勝！ はなむれ 県子ども会球技大会



▲見事優勝に輝いた「花族ニヨッキーズ」のみなさん

8月27日（日）、荒尾市で開催された県子ども会球技大会（ビーチボールバレー大会）に玉名郡代表として「花族ニヨッキーズ」（菊水名市）と

南小学校、児童8名）が出場しました。予選を順調に勝ち上がり、決勝戦に進出した花族ニヨッキーズは、鍋子ども会（玉名市）と



③幸せの味をかみしめて

熊本日日新聞社 金婚夫婦表彰式



▲坂口源一郎様・小夜子様ご夫婦（皆行原）



▲松尾惣助様・トキヲ様ご夫婦（板橋西）

今年で第48回目を迎える熊本日日新聞社からの金婚表彰式が、9月5日（火）役場本庁で行われました。

今回、合併して初めての金婚式となり、菊水地区から坂口源一郎様・小夜子様ご夫婦と三加和地区から松尾惣助様・トキヲ様ご夫婦が代表者として表彰を受けられました。

おめでとうございます。これからも末永く幸せにお過ごしください。

⑤ふれたよ 小さな命

中学生赤ちゃんふれあい体験学習



▲参加した親子と菊水中学校の生徒さん

8月11日（金）、健康管理センターで中学生赤ちゃんふれあい体験学習が行われました。

まず午前中に、妊婦、

助産師の方からお話をいただき「生命の尊さ」「乳児の扱い方」などについて学びました。その中で、実際に妊婦のお腹に触れてみたり、妊婦ジャケットを着用して妊婦さんの不自由さを体験しました。

午後からは、3、4ヶ月健康診査に参加した赤ちゃん達と触れ合い、服の着せ替え、抱っこ仕方などをお母さんの実演を交えながら体験しました。めったに触れることのない赤ちゃんを抱き上げやすす中学生の顔は優しさに満ちていました。

④古文書解読に挑戦!!

熊本大学古文書解読報告会



▲研究成果を発表する熊本大学の学生たち

8月30日（水）、上大田黒公民館で熊本大学文学部歴史学科日本史研究部の学生たちが戸田家の古文書（和水町大田黒の戸田知敏氏所有）の解読報告会を行いました。

戸田家は、昔から肥後藩との関係が深く多数の古文書が所蔵されています。今回、熊本大学文学部の学生など20名が8月28日～30日の3日間、江戸後期から幕末の文庫を中心に解読しました。その当時の戸田氏の身分や職責から、肥後藩とのつながりや社会情勢等を研究し、最終日の30日にその成果を報告しました。今後は、この成果を大学に持ち帰って更に研究を深めていくことです。

※熊本大学日本史研究室では、地域貢献事業の一環として毎年夏休み期間を利用し、積極的に地域での活動を行っています。

⑥きれいなお花が咲きました。見えない根のおかげです！

第2回ふなやま講座

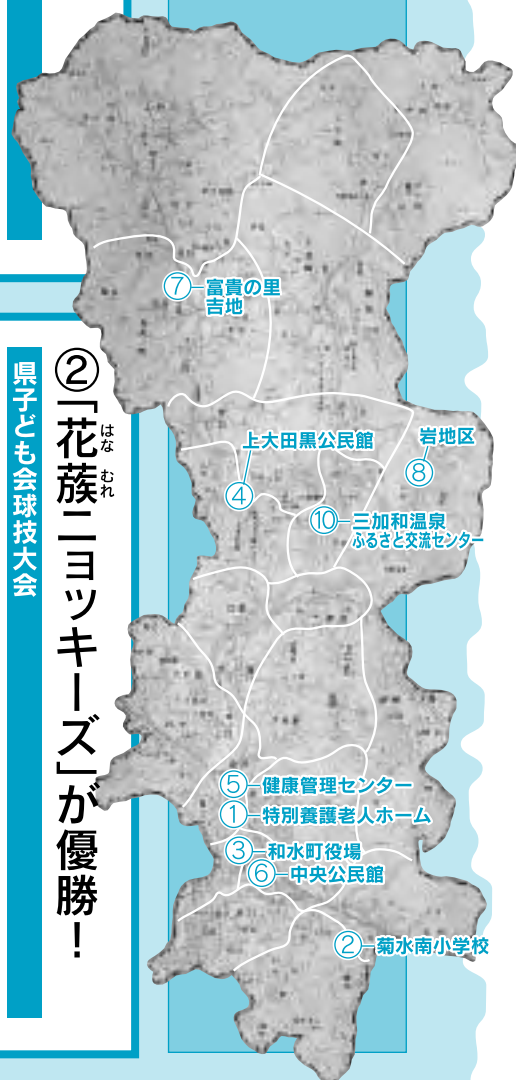


▲竜笛の演奏も披露してくださった講師の平木寛さん

8月30日（水）、中央公民館で町民カレッジ第2回「ふなやま講座」講演会が開催されました。

今回の参加者は約70名。講師は玉東町「徳成寺」副

住職及び山北保育園副園長の平木寛さん。『前向きに生きる』と題し、先祖代々から、私たちの命は「つと」つながっているというお話をされました。きれいな花は、見えない根つこのおかげ。その根つこは父や母、祖父母その他大勢のおかげであり、おかげ様と生かされていることに感謝して、命を大事にし、前向きに生きてほしいということでした。



⑦第2弾「田の草取りと案山子を作ろう！」

なごみのおいしい自酒オーナー事業



▲案山子設置の様子

8月19日（土）、住民自治組織「富貴の里 吉地」が主催する「自酒オーナー事業」の第2弾「田の草取りと案山子作り」をオーナーとその家族18名、地元住民が協力して実施しました。

午前中は、約15aの田んぼの草取りです。全員が腰をかがめて草取りを開始。30分後には除草が終わり、午後は、竹とわら、古着を使った「案山子作り」です。全部で6体の案山子が出来上がり、早速、自酒オーナーの田んぼに立てて、豊作を祈りました。

今後は、稲刈りと手すき和紙でのラベル作りと自分だけの酒造りが予定されています。

⑨消防団、県大会で好成績！

第26回熊本県消防操法大会



▲県消防操法大会の様子

8月27日（日）、人吉市で第26回熊本県消防操法大会が開催され、小型ポンプの部で、郡大会を勝ち抜いた消防団の第五分団第二部が出場し、26チーム中、第10位という好成績を収めることができました。

ご声援誠にありがとうございました。

⑩お年寄りに温泉と手作り弁当を宅配！

みかわAG会



▲手作り弁当の宅配

9月6日（水）、農業後継者グループ「みかわAG会」（池上洋一会長、会員35名）が、町内の一人暮らしと寝たきりのお年寄りに温泉と手作り弁当を届けました。

会員たちは「みかわ温泉ふるさと交流センター」の温泉をトラック3台の大型タンクに汲み、また地元の新鮮な野菜などを使った心づくしの弁当を作り、楽しみに待っておられたお年寄りの自宅に笑顔で届け、大変喜ばれていました。

今回で温泉宅配は15回目（弁当宅配は10回目）。今回は和町となつてはじめてということで、菊水地区の「特別養護老人ホームきくすい荘」にも温泉を宅配しました。

TOWN TOPICS



▲案山子づくり体験に参加したみなさん

⑧いろんな案山子が出来たよ！

案山子づくり体験

9月2日（土）、「岩地区里づくり協議会」の主催で案山子づくり体験が行われました。

熊本市や山鹿市からの参加者や、地元の子どもたちなど36人が集まりました。岩地区の田植え体験田の近くで、同協議会員からつくり方の説明を受けた後、2、3人一組で案山子づくりに取り組みました。

和気あいあいの雰囲気の中、個性豊かな案山子が18体出来上がり、全員で体験田に運んで設置しました。

昼食は、地元の野菜をたくさん使った田舎料理を食べ、午後からは岩地区にある国史跡の豊前街道「腹切坂」などの史跡巡りを楽しみました。

新農業委員に期待します 委員紹介（敬称略）

農業委員会の役割と使命

1 農地を守り生かす取り組み

- ・農地バトロール
- ・遊休農地の発生防止・解消
- ・担い手への利用集積など

2 担い手の育成

- ・認定農業者や農業法人など担い手の育成支援
- ・集落営農の組織化など

3 農政活動

- ・認定農業者との意見交換などをふまえた農政に対する建議・要望など

4 地域活動

- ・地域農業のビジョン作り
- ・食農教育
- ・消費者との意見交換など

5 情報提供

- ・農業委員会だよりの発行
- ・全国農業新聞・全国農業図書発行の普及

					
牛島 英雄 上板楠	原口 恒一 用 木	福原 文章 和 仁	石原 省三 原 口	坂井 清喜 竜 門	会長 長馬 荒木 拓
					
鍋島 輝生 板 楠	森 康弘 岩	一森 敏之 志口永	代理 松井 征剛 米 焼	牛島 孝典 上板楠	宮野 仁美 大田黒
					
竹隈 京子 大田黒	蒲池 勝文 東吉地	福原 宗茂 和 仁	高巢 泰廣 長小田	中峯 幸一 日 平	北原 正美 平 野
					
草野 克典 上和仁	荒木 清也 長小田	丸山 米継 江 田	池上 昭司 中十町	石口 秀明 上十町	大村美津子 江 田

和水町農業委員会事務局
電話 0968・86・3111 内線552
事務局長 徳永 宣久
事務局職員 木村 勇 徳永 はるよ

和水町農業委員会事務局（三加和出張所）
電話 0968・34・3111 内線732
三加和出張所長 平田 知洋
事務局職員 上原 克彦

インフルエンザ予防接種料金の 一部助成を行います。

■満1歳～就学前の児童（平成18年10月1日現在）

町立病院 **小児科外来** で接種する場合

実施期間：平成18年10月24日（火）～12月26日（火）の毎週火曜日
受付時間：午後2時30分～3時30分（10月24日～10月31日） 1日20名
 午後1時30分～2時30分（11月7日～12月26日） 1日40名
接種回数：幼児は1回目と2回目の間隔を1～4週間あけて2回接種します。
 事前に予約が必要です。早めに受けましょう。
 ※卵アレルギーがある方は事前にお知らせください。
料 金：1回目 1,000円 2回目 1,000円
持 参 品：母子健康手帳、予防票
予 約：11月30日（木）までに町立病院小児科外来へお願いします。
 接種を希望される方は、予防票を病院受付と役場及び三加和総合支所の健康福祉課に用意していますので、必ず接種前に記入しておこしください。



町立病院 **以外** で接種する場合（かかりつけ医がある方は、そちらで接種されても構いません）

実施期間：平成18年10月2日（月）～12月末日
接種回数：幼児は1回目と2回目の間隔を1～4週間あけて2回接種します。
持 参 品：母子健康手帳、予防接種料金
 ※予防票は、医療機関発行のものをご利用ください。
助成方法：償還払いとします。医療機関発行の領収書（2回分）と印鑑をお持ちの上、健康福祉課に申請してください。1回につき自己負担1,000円分を差し引いた額を助成します。
 ※接種料金は1、2回目ともに4,300円程度
申請期限：助成の申請受付は平成19年1月31日までです。
 申請期限を過ぎたら受け付けませんので、接種後、早めに申請をお願いします。

■65歳以上（平成18年12月30日現在）

※個別に通知します。詳しくは、後日送付の通知をご覧ください。
 ※インフルエンザ予防接種料金の助成対象者は、次の方です。
 ・予防接種法で定められている65歳以上の方及び60歳～65歳未満の疾病を持つ一部の方
 ・任意で実施する幼児（1歳～就学前）

看護部を
ご紹介します。



医療

和水町立病院
☎0968・86・3105

看護に心を 患者さんに愛を

7 月の大雨、8月の猛暑、9月の残暑とともに厳しい夏の季節が過ぎ、朝夕には心地よい風が吹く秋の季節となりました。

町民の皆様には、お変わりなくお過ごしでしょうか。

今回から、町立病院のスタッフがどのような所で、どのような仕事をしているのか、紹介していきます。

今回は、町立病院でスタッフが一番多い看護部を紹介します。看護部は、総婦長の下、看護師・介護士・看護助手の総勢64名が、皆様の看護や介護業務に当たっています。

外来部門

「内科」「外科」「小児科」の各科

週3回の整形外科
週1回の脳外科

「内視鏡室」

胃カメラ等を行います。

「手術室及び中央材料室」

衛生材料（包帯、栄養チューブ等）や、医療機器（手術用）の

管理を行っています。

「処置室」

採血や点滴等をするところです。職員7名 他臨時職員 総数15名でがんばっています。

地域部門

「訪問看護ステーション」

在宅での看護を提供しています。（医療処置、リハビリ、入浴介助）等
職員1名 他2名の3人でがんばっています。

「居宅介護支援事業所」

介護保険で要支援や要介護の認定を受けられた方々が在宅において円滑な生活が送れるように支援します。
職員3名 臨時職員1名

140名の方々の支援を行っています。

三階病棟

急性期の病気の方々を看護させていただいている病棟です。

混合病棟ですので入退院が多くバタバタした毎日を送っています。

す。

職員18名（看護師） 看護助手4名で共にがんばっています。

四階病棟（療養型病床群）

急性期を過ぎ症状が落ち着いてもなお治療や、介護が必要な方々のお世話をさせていただいています。月一回行われる誕生会には、ボランティアの人達の協力で多彩な芸を披露していただきます。

職員9名（看護師） 10名（介護士） 看護助手1名で共にがんばっています。

看護部職員一同は、日々の業務の中で「気配り」「目配り」「心配り」を心掛けていますが、忙しさのあまり、つい声を掛けそびれたりすることもあるかと思っています。そのような時は、ぜひお叱りの言葉やご意見などをいただきたいと思います。

町民の皆様方のご意見を私達看護部だけでなく病院の運営にも反映させたいと考えています。



▲患者さんにもいつも笑顔で対応します

最後に、町民の皆様のご支援をいただきながら、よりよい和水町立病院となるよう努力していきますので、よろしくお願い致します。

すので遠慮なくお聞かせください。皆様からのご意見等とおして、看護・介護の心を今一度思い起こし、専門職としての誇りを再認識し、スタッフ一同がんばりたいと考えています。